

# 蒸留技術の最新動向と 日米の潮流を探る

～ 事故防止、省エネ、設備能力改善、環境対応の最新技術情報 ～

日時：2013年11月19日(火) 10:00～16:00 ※交流会 16:00～17:30

会場：アルカディア市ヶ谷 [私学会館] 5F 赤城

定員：50名 受講料：42,000円 (資料代・昼食代・交流会費含む、消費税込み)

主催：日刊工業新聞社 協力：Fractionation Research Inc.(FRI; 米国蒸留研究機関)

**会場案内図** アルカディア市ヶ谷

【アクセス】地下鉄 有楽町線・南北線 市ヶ谷駅 (1またはA1) 出口から徒歩2分  
地下鉄 新宿線 市ヶ谷駅 (A1またはA4) 出口から徒歩2分  
JR 中央線 (各駅停車) 市ヶ谷駅から徒歩2分

## アルカディア市ヶ谷 [私学会館]

東京都千代田区九段北4丁目2番25号

### 【アクセス】

地下鉄 有楽町線・南北線 市ヶ谷駅 (1またはA1) 出口から徒歩2分  
地下鉄 新宿線 市ヶ谷駅 (A1またはA4) 出口から徒歩2分  
JR 中央線 (各駅停車) 市ヶ谷駅から徒歩2分

### ●申込方法

申込書を郵送またはFAXにてお申し込み下さい。申込受付後、参加票と請求書をお送りいたします。参加料は銀行振込にて開催日までに必ずお支払いください。尚、お支払い済みの参加料はご返金できかねますので、ご了承ください。振込手数料は貴社でご負担下さい。

口座名義 (株)日刊工業新聞社 りそな銀行 東京営業部 当座 656007  
三井住友銀行 神田支店 当座 1023771  
みずほ銀行 九段支店 当座 21049  
三菱東京UFJ銀神保町支店 当座 9000445

### ●申込先 日刊工業新聞社 業務局 業務推進部 技術セミナー係

〒103-8548 東京都中央区日本橋小網町14-1 (住生日本橋小網町ビル)  
TEL 03 (5644) 7222 FAX 03 (5644) 7215  
e-mail: j-seminar@media.nikkan.co.jp  
URL: http://www.nikkan.co.jp/edu/semi/top.html

キリトリセン

## 参加 申込書

蒸留技術の最新動向と日米の潮流を探る お申し込みは FAX 03-5644-7215

■参加料：42,000円 (資料代・昼食代・交流会費、消費税込み)

※振込手数料は貴社でご負担ください。

会社名		業種	
氏名	フリガナ	TEL:	
所在地	〒	FAX:	
	E-mail:	※今後、E-mailによるご案内を希望しない方は チェックをしてください。 <input type="checkbox"/>	

※お申込み受付後、受講票ならびに請求書をお送りいたします。  
※一度お振込みいただいた受講料につきましては、ご返金できかねますのでご了承ください。

### 個人情報の取り扱いについて

ご登録いただいた情報は日刊工業新聞社が細心の注意を払い、展示会・セミナー・サービス等、各種ご案内を送らせていただくことを目的に利用させていただきます。  
なお、宛先変更・配信停止をご希望の際は右記までご連絡ください。【ご連絡先】日刊工業サービスセンター 情報事業部 nkmail01@nikkansc.co.jp

# 開催主旨

好評の日米蒸留技術フォーラムを2年ぶりに開催いたします。蒸留技術が重要な地位を占める化学工業、石油精製工業、食品工業等においては、最近特に事故防止技術、省エネルギー技術、リバンプ（設備能力改善）技術が重要視されています。

そこで本フォーラムでは、最近の日米の蒸留技術開発動向も含めて、経済性に優れ、しかも実用的な蒸留技術の新潮流を、日米の講師が最新の研究成果をもとに分かりやすく解説いたします。特に今回は米国の研究コンソーシアムFRIで活躍されております実務経験豊富な開発技術者を講師にお迎えすることが出来ました。

講演終了後には、参加者全員による情報交流会を開催いたします。またとない機会でございますので、是非とも関係各位のご参加をお勧めいたします。（なお米国人講師の講義では、要点を通訳しますと同時に質問は日本語で可能です。）

**FRI**：蒸留技術の米国に本拠を置く世界的な研究コンソーシアムで50年以上の歴史を有します。工業規模の試験を系統的に行い設計技術の確立と同時に新事実をも発見しており、その設計マニュアルは事実上の世界標準となっています。

## プログラムと講師

### 講演Ⅰ

**「省エネ蒸留技術と塩効果、気液平衡におけるNRTL式の挙動」** (10:00~11:50)

東京理科大学 教授 工学博士 **大江 修造 氏**

### 講演Ⅱ

**「化学工場の事故防止と米国における蒸留装置の最新の開発状況」** (12:50~13:50)

FRI (米国蒸留研究機関) CTO **Michael R. Resetarits 氏**

### 講演Ⅲ

**「蒸留塔における品質制御、状態監視の最新技術」** (13:50~14:50)

横河電機(株) VPサービス事業部 VPサービスセンター **渡辺 雅弘 氏**

### 講演Ⅳ

**「飲料用アルコールの品質安定製造における省エネ蒸留の実例」** (15:00~16:00)

サントリー酒類(株) スピリッツ事業部 商品開発研究部 **坂口 正明 氏**

**交流会 (名刺交換会)** (16:00~17:30) ※軽食をご用意しております。

## 講師略歴

#### 大江 修造 氏



石川島播磨重工業(現IHI)を経て、東京理科大学教授。FRI顧問。専門は化学工学。蒸留工学の研究に終始一貫して従事。蒸留塔用アングルレイを發明、FRIにて開発に従事。現在10社以上でアングルレイ蒸留塔が稼働中。気液平衡における塩効果の推算法は「大江モデル」として知られている。「物性推算法」「蒸気圧データ集」「蒸留工学」「絵とき蒸留技術基礎のさそ」など著書・論文多数。日本開発工学会理事としても活躍中。2008年、米国化学工学会(AIChE)にて表彰。

#### 渡辺 雅弘 氏



1960年5月8日石川県生れ。1983年富山大学電気工学科卒業。同年横河電機株式会社入社。入社後一貫してプロセス制御システムのエンジニアリング業務に従事。石油、石油化学を中心に数多くのプラントでモデル予測制御のエンジニアリング業務を経験。

#### Michael R. Resetarits 氏



Northwestern大学にて化学工学修士号を取得。ユニオンカーバイド社にて14年間、UOP社にて11年間、Koch-Glitsch社にて4年間にわたり蒸留、吸収、抽出のプロセス設計および装置設計に従事。さらに、据え付け、スタートアップおよびトラブルシューティングについても豊富な経験を有す。17件の蒸留について米国特許を有し、50編以上の論文を執筆。2008年1月請われてFRIの技術担当重役となる。氏の丁寧なプレゼンテーションは英語の壁を越えて理解されよう。

#### 坂口 正明 氏



1980年大阪大学大学院発酵工学科卒。同年サントリー(株)入社、酒類研究所・ウイスキー研にてモルトウイスキーの基礎研究。その後、酒類研究所・スピリッツ研、技術開発研究所勤務。95年から白杵工場・大阪工場で連続蒸留酒の生産管理。96年以降、プロセス開発部・焼酎商品開発研・洋酒商品開発研等で連続蒸留アルコール全般の技術開発、品質保証を担当。現在、酒類原料プロジェクトチーム・スペシャリスト。